

## ＜単位制による定時制の課程＞

### 1 令和8年度 学校経営計画

#### 1 スクール・ミッション

静岡県中部地区における単位制の課程の高等学校として、様々な背景を抱える生徒の「学び直し」の実現と「自己肯定感」の向上を目指す多様性のある教育課程を通して、自己の特性を理解し、自他の生命や存在を尊重するとともに、規範意識を身につけ、社会的に自立し生きがいを持って人生を送ることができる人材の育成を目指す。

#### 2 目指す学校像

##### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自立(自律)</li> <li>・自らの個性を知り、健やかな体と豊かな心を育む力</li> <li>・自らの存在に価値を感じ、静岡中央高等学校での学びを活かす力</li> <li>○挑戦</li> <li>・自ら学び続ける姿勢を持ち、具体的な将来像に向けて努力する力</li> <li>・自分の持てる力を信じ、表現する力</li> <li>○創造</li> <li>・人とつながりを持ち、多様性を認め、自分らしく生きる力</li> <li>・広い視野を持ち、自己を見つめ、自分の未来を創る力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゼミ活動(総合的な探究の時間、特別活動)</li> <li>・生徒や教師との関わりの中でのコミュニケーション力の育成</li> <li>・社会性を身につけるために、個に寄り添ったキャリア支援</li> <li>○教科指導</li> <li>・基礎学力の向上と個に応じた学習支援</li> <li>・主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、生徒が互いに学び合う学習活動</li> <li>○人と関わる生徒支援</li> <li>・他者との関わりから自己理解を深め、人とのつながりと貢献する気持ちを育成</li> <li>・外部人材との連携による自分らしいライフデザインづくりをサポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学ぶ姿勢を持ち、進路実現に向けて努力を続けることのできる生徒</li> <li>・「学び直したい」という意欲のある生徒</li> <li>・ルールやマナーを守り、自分と他者、学校を大切にできる生徒</li> <li>・視野を広げ、多様性を受け入れることのできる生徒</li> </ul>

##### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 多様な生徒が自己の良さを見つけ、生き生きと学ぶことで進路実現を図ることができる指導体制の工夫・改善
- イ 不登校、長期欠席、特別な教育的支援が必要とされる生徒などが学習や生活についての「学び直し」を行うための適切な指導体制の整備
- ウ 自らを律し、他を思いやることのできる豊かな心と健康な身体の育成
- エ 教職員の人権意識を高め、ユニバーサルデザインに基づく安全・安心な教育環境の整備
- オ 適切な情報発信や、「行きたい学校づくり」推進事業等の研究指定事業を活用した学校経営改革

#### 3 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ICT 活用等により興味関心を引き出す授業、わかる授業の実践</b></li> <li>・ 生徒の実態に対応した履修指導体制の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習上・生活上の必要性に応じた ICT 活用(ロイロノート等のソフト、アプリの活用)</li> <li>・ 「主体的・対話的で深い学び」、「教科横断的な学び」を可能とする授業形態の導入と工夫</li> <li>・ 生徒の実態、学校の実情に適した履修登録方法の検討・改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT 活用等により「授業がわかる」生徒 75%以上を維持する</li> <li>・ 授業において ICT を活用した教員が 100%</li> <li>・ 希望に沿った履修登録ができた生徒 90%以上</li> </ul>	教務課 図書研修課 情報課 各教科
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の学力向上に向けた授業改善</li> <li>・ <b>探究活動の推進</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎基本の徹底による基礎学力の定着、学んだ知識を活用して学びを深める授業改善を目指す</li> <li>・ 探究的な学び(プロセス)を意識したゼミ活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の実態を把握し、授業改善に取り組んだ教員が 90%以上になる</li> <li>・ ゼミ活動が充実したと答える生徒 80%以上</li> </ul>	教務課 各教科  推進委員会 各ゼミ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>進路意識を高め、キャリア教育を適切に実施し、早期に準備を始める進路指導体制の整備</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内組織及び外部機関との連携による多様な生徒に対応できるキャリア教育・支援の年次接続を意識した計画的実施</li> <li>・ インターンシップの拡充、支援機関との早期連携、企業・大学等との連携によるキャリア教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路の情報を積極的に活用し主体的にキャリアデザインに取り組む生徒が増加する</li> <li>・ 進学、就職を含めた進路決定率 100%</li> </ul>	進路課 年次
イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代の変化に応じた教育を実現するための教職員の資質向上と研修広報の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導力向上に向けた定期訪問の活用及び校内研修の充実</li> <li>・ キャリアステージに見合った研修への参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修成果が教育活動の改善に役立ったと答える教職員の割合が 80%以上になる</li> </ul>	図書研修課 管理職
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>特別な教育的支援に関する理解の促進と連携体制の強化</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定通連携、居場所カフェを含めた校内外の連携体制の整備</li> <li>・ 支援に役立つ情報の収集と提供</li> <li>・ 日常的なミニケース会議の実施</li> <li>・ 対象生徒に係る個別の教育支援計画及び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学期末、年度末の情報共有作業が職員間に定着し、共通理解が深まる</li> <li>・ 居場所カフェの参加者数が 1 日平均 40 人以上に</li> </ul>	生徒保健課 教育相談室 年次

		個別の指導計画の作成	なる	
	・心の栄養となる読書活動の推進	・季節やイベントに連動した展示、幅広い図書紹介による読書週間の啓発	・図書室利用者数1日平均40人以上になる	図書研修課
ウ	・生徒会・部活動の活性化	・定時制、通信制が連携し、生徒会による全員参加が可能な文化祭の企画運営の工夫 ・部活動活性化のための職員室前掲示板の有効活用、広報活動	・文化祭の生徒の満足度が90%以上になる ・部活動所属している生徒で意欲的に取り組んでいる生徒が70%以上になる	生徒保健課
	・食習慣や健康に関する正しい知識と豊かな心と健康な身体の育成	・保健だより等による啓発活動 ・朝食調べを活用した啓発活動 ・薬学講座等による啓発 ・ゼミ活動を通じての豊かな心と健康な身体の育成	・朝食摂取率が向上する ・薬物、飲酒、喫煙の依存性を理解できている ・基本的な生活習慣の確立、学校内の環境の整備ができています	生徒保健課 各ゼミ
エ	・人権意識の高揚 ・いじめの未然防止	・教職員の人権意識を高め、ユニバーサルデザインに基づく教育活動の研究 ・生徒保健課、教育相談室、年次の指導分担の工夫改善と連携体制の強化 ・きめ細かな情報収集と対応	・生徒の人間関係や学習上・生活上の課題を把握し、早期に組織的に対応する ・学校生活が安全で安心できると答える生徒85%以上とする	生徒保健課 図書研修課 教育相談室 年次
	・防災教育、安全教育、環境教育の推進	・防災計画及び危機管理マニュアルの理解促進と防災訓練後の見直しによる情報共有の徹底	・南海トラフ地震に備え、多様な状況に対応する防災訓練の計画を策定する ・南海トラフ地震、Jアラート等の記載事項を最新の内容に更新する	総務課
	・安全安心な教育環境の整備	・「デジタルプラットフォーム」や「Cラーニング」、生徒個人情報端末等 ICT 機器の活用による情報共有 ・予算を有効活用した計画的な整備及び確実な維持管理 ・定期的な巡視による危険箇所の早期改善と不審者対応の整備	・生徒、職員が相互に情報共有し、安心感のある環境整備を図る ・校内での事故件数をゼロにする	情報課 関係各課 総務課
	・コンプライアンス遵守	・ハラスメント対策、交通安全、情報管理等の徹底 ・予算の適正な編成及び執行 ・生徒個人情報管理及び、生徒個人情報端末・ネットワーク管理や教職員のセキュリティポリシーの遵守の徹底	・毎職員会議でのコンプライアンス研修の実施 ・教職員による交通事故をゼロにする ・会計処理手続きを周知徹底し、適正に運用する ・校内での情報に関する事故ゼロ及び不祥事ゼロ	全教職員
オ	・PTA 活動の強化と保護者への支援（啓発）活動の実施	・サイネージ・ホームページ等による情報発信と「デジタルプラットフォーム」や「Cラーニング」、を活用した意思疎通と交流活動 ・対面による PTA 総会、保護者会の実施 ・高 P 連行事(全国・東海・県)への教職員、保護者の参加	・保護者等への適切な情報提供を行う	総務課 情報課
	・戦略的な広報活動と入学希望者の発掘と情報提供の充実	・入学希望者が「知る」「わかる」「深まる」学校説明会 ・本校の理念と教育システムを伝達する中学校訪問 ・魅力を伝える学校案内、学校 HP、SNS を活用した広報の工夫	・入学者選抜志願者数の定員確保を目指す	教務課 総務課 年次 管理職
	・社会の要請を見据えた学校改善・改革	・ダイバーシティハイスクール構想推進委員会や探究活動推進委員会等を含め、定時制・通信制の教職員が連携して学校改善・改革に参画できる機会の提供 ・生徒とともに学びあう科目履修生の積極的募集	・短期的に解決すべき学校体制の見直しの必要性を全職員が共有する ・社会の要請を見据えた学校のグランドデザインの作成に着手する ・授業に満足したと答える科目履修生80%以上	関係各課
	・業務分担の明確化による多忙感の解消	・校務分掌の整理合理化 ・チーム学校の構築に向けた外部人材の積極的かつ有効な活用	・定時出退勤日の履行率が向上する ・外部人材の活用実績が増加する	関係各課 管理職